開催行事報告

萬福寺ゆかりの《地域おこし》
するすみ祭を開催

平成30年10月8日（祝・月）

ふれあい動物園・ポニーの乗馬 多くの親子が楽しみました

午前10時、整備されてから4年目を迎える南馬込三丁目の磨墨塚で、大田区議会、町内会関係者ご出席のもと、ご供養が営まれました。ごあいさつの中で安本由道ご住職は「地域を愛し、名馬・磨墨の伝承を後世に残すことを願って130年前に碑を建立した人たちの思いを絶やすことなく守っていくことを誓います」と話されました。

同時刻から門前の駐車場では「ふれあい動物園」が開園し、集まった子供たちがポニーの乗馬や、約80種の小動物との触れ合いを楽しみました。当日は松原大田区長も来場され、この日販売されたお餅や豚汁の収益金の一部は、大田区社会福祉協議会に寄付されました。

するすみ祭恒例の「ふれあい動物園」。興味津々の子供たち

新盆供養・盂蘭盆会法要

平成30年7月13日（金）

初めての仏様を迎えて 悲しみも新たに

新盆供養の参列者を前に、安本由道ご住職は、「仏様を心配させないようにするためには、皆様に一日も早くやすらかな日々が訪れなければなりません。そのためにも健康で幸せになってください。急ぐことはありません。ゆっくり供養しながら、一歩一歩前に進んでください」と話されました。

午後1時から日蓮宗の大森・一華庵主、戸澤宗充法尼による法話と琵琶の演奏が、午後2時からは盂蘭盆会の法要が営まれました。

戸澤宗充法尼による法話と琵琶の演奏

大施餓鬼会法要

平成30年7月23日（月）

あらゆる生命に感謝し 40余名の僧侶が読経

午後1時から山梨県甲府市・長泉寺住職、水庭浩章老師による法話が行われました。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨など自然災害が続く中、老師は「生きとし生けるもの皆平等に尊い。相手を思いやる心を持って自分にできることを精一杯生きることができれば、安心できる世の中になることでしょう」と話されました。

「必要のない人間など一人もいません」を話す、水庭老師

当山最大の行事、大施餓鬼会法要は午後2時から、いつにも増して荘厳にして盛大に執り行われました。

大施餓鬼会法要